

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2020.5.1

No.181

主な内容

- ◆定例会の審議結果…………… 2～5P
- ◆令和2年度予算審査の概要
…………… 6・7P
- ◆委員会審査の概要
企画建設常任委員会……… 8・9P
文教民生常任委員会……… 9P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…………… 10～17P
- ◆活動ピックアップ・お知らせ
…………… 18P

令和2年市議会第1回定例会

一般会計230億8,000万円ほか
各会計の新年度予算案を可決

加茂農林高校園芸流通科の生徒さんによる議場の花

令和2年
第1回

定例会

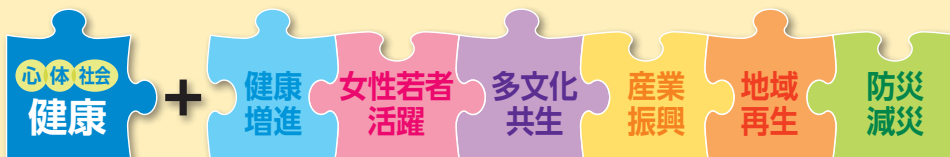
▶ 一般会計230億8,000万円ほか各会計の新年度予算案を可決

市議会第1回定例会は、2月26日に開会し、3月24日までの会期28日間で開催しました。初日は、46議案が上程され、提案説明のあと、人事案件などの16議案については、質疑、採決まで行いました。

3月9日、10日、11日は、15人の議員が一般質問を、3月12日には、各議案に対する質疑を行い、委員会付託を行いました。付託された各議案の審査のため、3月13日に予算決算特別委員会、16日に企画建設常任委員会、17日に文教民生常任委員会を開催しました。

3月24日には、各議案に対する委員長報告の後、討論(反対・賛成)、採決を行いました。また、追加上程した議第46号については、提案説明の後、質疑、採決を行い、定例会を閉会しました。

新年度の の 主な事業



健康相談事業 (381万7千円)

市民が健康、医療、介護、育児に関することについて、24時間365日都合の良い時間にコールセンターへ電話をかけ相談等を行える事業を実施する。



WalkableCity推進事業 (167万8千円)

「自分の健康のために、家族の健康のために、歩き続けるまち」を目指して、「美濃加茂健康軸」(市内3公園)の活用し、市内企業と連携しながら、ヘルスケアに関する協議組織を立ち上げていく。



都市公園整備事業 (1億824万3千円)

市民が安全で快適な憩いの場所として利用できる公園を維持する。令和2年度は、住民ワークショップにより検討してきた井戸畑児童公園の改修工事を実施する。



古井保育園整備事業 (3億4,314万5千円)

より良い保育環境を確保するため、令和4年4月の開園を目指し、設計、施工、施設保守管理を合わせた*DBO方式により新保育園を整備する。令和2年度は、用地取得や設計等を実施する。



多文化共生推進事業 (2,181万7千円)

令和2年度は、外国人市民の生活相談事業、日本語教室のサポートスタッフの養成講座などを実施する。



里山活用事業 (2,128万9千円)

里山をフィールドに地域の課題に取り組む人材育成プロジェクト「里山STEAM事業」を実施する。



あい愛バス運行事業 (1億9,060万5千円)

令和2年10月に予定しているダイヤ改正で、市内3公園を結ぶ路線の新設や昼の運行空白時間帯に便を新設するなど、より乗りやすい路線運行とする。



地域防災力強化事業 (2,857万3千円)

Web版ハザードマップ整備、国土強靭化地域計画策定、電気自動車購入など防災施設、防災備蓄品の整備を行い、災害に強いまちづくりを推進していく。



※デザイン・ビルド・オペレート方式：公共が資金調達を負擔し、設計・建設・運営を民間に委託する方式

定例会の審議結果

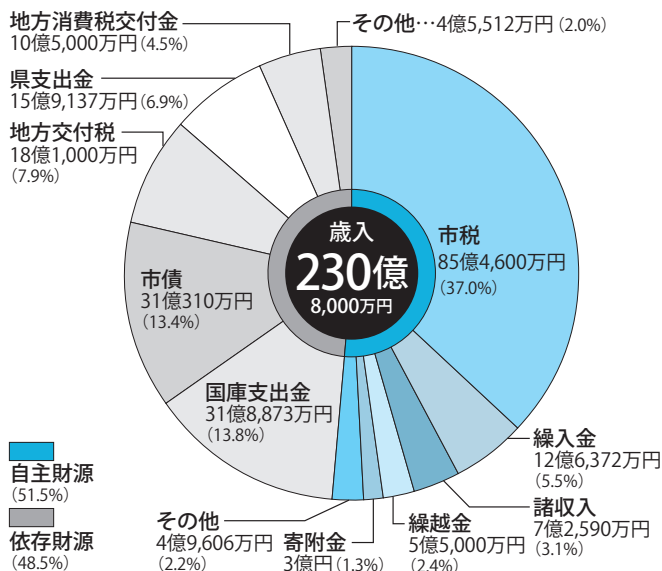
令和2年度は、第6次総合計画の初年度として、新たなスタートを切る年であり、将来都市像を着実に実現するための礎となる、極めて重要な1年であると認識しています。この新たな総合計画では、「すべての健康のために、歩き続けるまち」を基本構想に掲げ、市民・団体・企業・行政が一体となって、「歩き続ける」ことを共通の目標としながら、「心の健康」、「体の健康」、「社会の健康」を整えることで、未来へつなげる持続可能なまちづくりの実現を目指しています。

令和2年度の予算案では、基本構想を実現していくため、「健康」という視点に加え、基本計画に掲げる6つのまちづくり宣言である「健康増進」、「女性若者活躍」、「多文化共生」、「産業振興」、「地域再生」、「防災減災」を重点施策に掲げ、新たな一歩を踏み出していまいります。

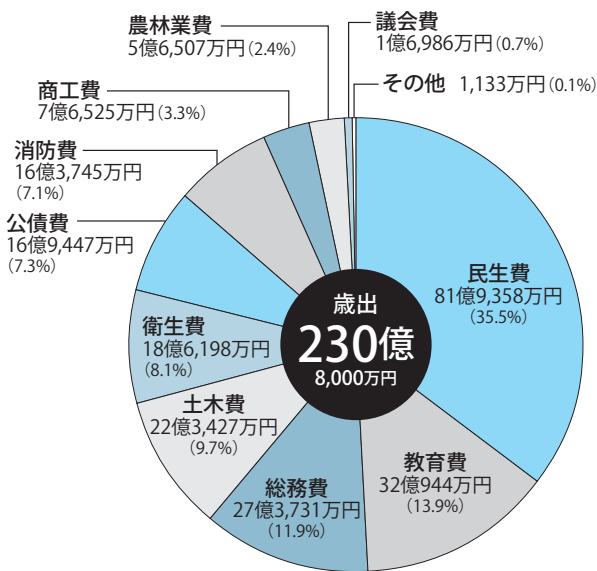
(新年度予算説明から抜粋)

一般会計予算

一般会計予算の歳入



一般会計予算の歳出



※金額は千円単位を四捨五入、割合は小数点第2位を四捨五入しています。

議案等の審議結果

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主 要 内 容	議決結果	議 員 名															
			永田徳男	田口智子	坂井文好	酒向信幸	渡辺孝男	牧田秀憲	渡辺義昌	村瀬正樹	高井厚	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	森厚夫	山田栄
議第19号	令和2年度美濃加茂市一般会計予算 予算総額230億8千万円(前年度比+14.9%)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	令和2年度美濃加茂市国民健康保険会計予算 予算総額51億1,485万円(前年度比-0.2%)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号	令和2年度美濃加茂市介護保険会計予算 予算総額39億323万5千円(前年度比-0.5%)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	令和2年度美濃加茂市後期高齢者医療会計予算 予算総額6億5,760万8千円(前年度比+14.9%)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

定例会の審議結果

議案等の審議結果

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第1号	美濃加茂市私債権の遅延損害金徴収条例について	民法改正に合わせ、遅延損害金を原則法定利率を乗じて計算した金額で徴収することについて定める条例を制定するもの
議第2号	美濃加茂市私債権の遅延損害金徴収条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	美濃加茂市私債権の遅延損害金徴収条例の制定(予定)に伴い、関係する条例について所要の改正を行うもの
議第3号	美濃加茂市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第4号	美濃加茂市監査委員条例の一部を改正する条例について	地方自治法の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第5号	美濃加茂市総合運動場条例の一部を改正する条例について	グラウンドのナイター施設の利用期間を変更するため、所要の改正を行うもの
議第6号	美濃加茂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	学校医等の手当等の額を変更するため、所要の改正を行うもの
議第7号	美濃加茂市印鑑条例の一部を改正する条例について	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、所要の改正を行うもの
議第8号	美濃加茂市体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	トレーニングルームを閉鎖するため、所要の改正を行うもの
議第9号	美濃加茂市営住宅の設置及び管理に関する条例及び美濃加茂市定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	連帯保証人の数の変更や極度額を定めるため、所要の改正を行うもの
議第10号	美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	国民健康保険法施行令の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第11号	美濃加茂市特定用途制限地域における建築物等の用途の制限に関する条例の一部を改正する条例について	建築の制限を緩和するため、所要の改正を行うもの
議第12号	美濃加茂市民の歯と口腔の健康づくり条例の一部を改正する条例について	歯科口腔保健・医療の充実を図るため、所要の改正を行うもの
議第13号	美濃加茂市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの
議第14号	美濃加茂市健康診査等手数料条例の一部を改正する条例について	新たに30代健診を実施するため、所要の改正を行うもの
議第15号	令和元年度美濃加茂市一般会計補正予算(第8号)	3億2,874万9千円の増額、予算総額は218億2,145万4千円
議第16号	令和元年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算(第3号)	455万9千円の増額、予算総額は51億6,134万1千円
議第17号	令和元年度美濃加茂市介護保険会計補正予算(第3号)	360万2千円の増額、予算総額は40億5,248万6千円
議第18号	令和元年度美濃加茂市下水道事業会計補正予算(第3号)	(建設改良債)6,000万円の増額、限度額は2億2,358万円(資本費平準化債)6,000万円の減額、限度額は7億4,200万円
議第23号	令和2年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計予算	予算総額3,768万8千円(前年度比-9.7%)
議第24号	令和2年度美濃加茂市古井財産区会計予算	予算総額160万4千円(前年度比+13.8%)
議第25号	令和2年度美濃加茂市山之上財産区会計予算	予算総額123万4千円(前年度比+0.4%)
議第26号	令和2年度美濃加茂市水道事業会計予算	予算総額24億8,365万9千円(前年度比+6.6%)
議第27号	令和2年度美濃加茂市下水道事業会計予算	予算総額43億8,458万8千円(前年度比+2.9%)
議第28号	市道路線の廃止について	市道西町231号線ほか5路線の廃止
議第29号	市道路線の認定について	市道太田517号線ほか12路線の認定
議第30号	損害賠償の額を定めることについて	地方自治法第96条第1項第13号の規定に基づく損害賠償の額の決定
議第31号	文化会館耐震等改修建築工事の請負契約の締結について	文化会館耐震等改修建築工事の請負契約の締結
議第32号～議第38号	美濃加茂市古井財産区管理委員の選任について	古井財産区管理委員の任期満了に伴う後任委員の選任同意(大梅義昭氏(再任)、若宮晴彦氏(新任)、馬場政一氏(新任)、西田均氏(新任)、藤井秀男氏(新任)、日比野信行氏(新任)、長江亮氏(再任))
議第39号～議第45号	美濃加茂市山之上財産区管理委員の選任について	山之上財産区管理委員の任期満了に伴う後任委員の選任同意(酒向壽廣氏(新任)、中嶋正明氏(新任)、平岩民治氏(新任)、山田光昭氏(新任)、小森勘弥氏(新任)、木村恒夫氏(新任)、酒向金治氏(新任))
議第46号	美濃加茂市副市長の選任について	副市長の選任同意(小川美鈴氏 新任)
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦(西田正幸氏 再任)

定例会の審議結果

議案 クローズアップ

議第14号

美濃加茂市健康診査等手数料条例の一部を改正する条例

議案の概要

若い時期からの生活習慣病の早期発見・発症予防・重症化予防、そしてそのための生活改善を促し、健康診査受診を習慣づけることで、40歳以降の特定健診受診率向上にもつなげることを目的に、新たに30代健診を実施するに当たり、その手数料を徴収することとなることから条例を改正するもの。



議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・マスク姿の市議会傍聴は初めてのことであり貴重な経験となりました。6次総への期待を込めて、しっかりと一般質問に耳を傾けました。リバーポートパークと里山と健康の森の活用を市民の間で広め、そのあと観光としてつないでいってほしい。
- ・マスクごしの音声で聞き取りにくいところがありましたが、やむを得ないですね。コロナ対策では、美濃加茂市としても市内の病院や医院の状況を調査する必要があると思います。
- ・市政を知るには議会を傍聴させていただくのが一番です。ぜひ参加してください。議員の皆様、市長さんを初め執行部の皆様ご苦労様です。市民のためにご苦労いただいていること、議会を通じて痛感しました。(特にこんな時期)健康に留意され頑張ってください。工場誘致、観光面に特に力を入れてください。
- ・新庁舎に関して、シティホテルの歴史を知り得たことはよかった。農家の現状も知ることができてよかった。あい愛バスのさらなる発展を知り、この先を楽しみにしたいと思います。
- ・カミーノについての市議と行政側の質問と答弁を聞く機会を得たことを嬉しく思いました。市の将来を考えると子育てと成長にもっと力を注ぎ、市民も関心を持つことの大切さを知りました。

議会日誌 (主なもの)

2月	11日	議会改革特別委員会
3日	12日	企業誘致推進委員会
4日	18日	可茂消防事務組合中消防署中央分署 竣工式
6日		市防災会議及び国民保護協議会
10日		市木曾川右岸用土地改良区 総代会
12日	24日	議会運営委員会
13日	26日	議会だより編集委員会
14日	27日	市農業委員会委員選考委員会
20日	4月	
	1日	市職員辞令交付式
21日	3日	議会だより編集委員会
26日	9日	議会運営委員会
		新庁舎建設特別委員会
28日	13日	議会だより編集委員会
3月	17日	市議会第1回臨時会
3日		議会改革特別委員会
11日	27日	新庁舎建設特別委員会

令和2年度予算審査の概要

全議員で構成する「予算決算特別委員会」が、一般会計など各会計の予算について、前年度との比較や新規事業の内容、また、議会による事業評価(議会からの提言)が反映されているかなど、慎重にチェックしました。

《市一般会計予算》

問 ウォークブルシティ推進事業のサポートの詳細は。

答 官民協働で市民の健康増進をするための協議会をつくり、全ての世代の方に、健康に関する意識を高めてもらえるよう一体的に進めていきたい。市内の大きな公園を活用するウォーキングコースの設定などを企業とも連携して進めたい。

問 移住して暮らし始めるための支援事業において、東京圏からの移住支援の見込みは。

答 移住を3件見込んで計上しているが、令和元年度の実績はない。県内についても、1月末現在で2件であり、制度として周知が足りていない状況である。

問 旧伊深村役場庁舎活用事業の費用対効果は。

答 学校との連携はうまく取れているが、その他の地域実践活動については課題があると考えている。受注者との契約が来年度で満了となるので、課題や効果を十分検証して、伊深北部地域への新たな流れをつくる仕組みを考えていきたい。

問 国際交流事業について、ダボ・リージョンへ何人派遣するのか。

答 本市から8名の予定であるが、派遣団としては、富加町、坂祝町、川辺町のうちから参加する2名の生徒を加えた



ダボとの国際交流(おん祭MINOKAMO2019秋の陣)

10名となる。

問 住民基本台帳事務について、マイナンバーカードの普及率向上の取り組みは。

答 現在、マイナンバーカードの交付率は8%であるが、公務員の取得推進等により、交付した方を含めた申請率は12%程度である。令和2年度は国民健

康保険、後期医療保険の被保険者にマイナンバーカード取得の勧奨を行うなど、さらに取得を推進する。そのため、玄関ホールにマイナンバーカードを交付する専用の場所を設ける。

問 敬老事業の敬老祝金の額の見直しは。

答 県内で比較すると、他市より低いいため、再検討したい。

問 市社会福祉協議会補助金中、遺族会活動推進費の内容は。

答 社協で事務局を担当しており、主に「平和の道標」を設置する事業である。令和元年度は1カ所設置し、令和2年度は2カ所設置する。

問 児童保育費の病児保育事業広域利用負担金の詳細は。

答 岐阜市、関市、各務原市、可児市、坂祝町の5市町と相互利用の協定を結んでおり、本市から5市町の施設で病児保育を受けるもので、今年度の実績としては、2月末現在で26件である。最も多いのが関市の17件である。

問 感染症対策事業の需用費中のマスクの購入量についての考え方は。

答 予算積算時の想定と現在では、大きく状況が変わっており、見直しが必要である。新年度については、健康課、防災安全課及び農林課の3課において、備蓄についての協議を行い、再検討したい。

問 農事改良組合の活動状況は。

答 農事改良組合の活動に関しては、JAや農業共済と連携しているが、転作等の計画書の回収が主になっており、活動内容も限定的になっている。今後は、農業ビジョンを策定する中で、農事改良組合の役割について検討したい。

問 自給力向上推進費中、ジャンボタニシパトロール委託料の詳細は。

答 シルバー人材センターにパトロールを委託する

予算審査の概要

もので、卵や成虫の駆除も業務に含めている。ジャンボタニシの活動時期である5月から9月に、週4日、1日当たり4時間ほどパトロールし、発見と駆除を行う予定である。

問 小規模企業者事業所等整備補助金等の活用状況は。

答 1事業所につき、1度だけの補助制度のため、対象事業所は年々減少傾向にある。事業所の整備を行う市内事業者からもPRしていただき、新規事業を展開される方にさらに活用いただきたい。

問 土砂災害特別警戒区域危険住宅建替事業費補助金の概要は。

答 市内のレッドゾーンの区域での住宅建替えが対象となる補助金で、1件当たりの上限額が300万円であり、申請があった場合に対応するための予算である。

問 井戸畑児童公園再整備の概要は。

答 遊具、園路、あずまや等、公園全体の施設をリニューアルする。なお、完了は令和3年度末を目指している。



井戸畑児童公園内の遊具

問 建築物耐震化促進事業について、ローラー作戦の状況は。

答 昭和56年以前に建築された木造住宅について、毎年約200件各地区を訪問している。建築士が耐震診断をしており、耐震補強基準としてIs値で0.7、もしくは1.0以上となるよう案内している。

問 情報教育推進事業の保守に関して、業者との価格の決定はどのようになっているか。

答 教育関係の保守については、随意契約で行っている。随意契約はマニュアルを定めており、今後もしっかりとチェックしていく。

問 教育センター運営事業において、社会科副読本の改訂の詳細は。

答 学習指導要領改訂に合わせて、教科書も大幅に改訂されているので、その内容に合わせたものを

1,360冊作成し、3・4年生分と指導者用を各学校に配付する計画である。

問 教育支援事業において、通級指導が必要と判定されても入級に至らないケースへの今後の対応は。

答 通級については、非常に需要も多く、そういった児童生徒にできるだけ対応するよう努力している。新年度は、蜂屋小学校に通級学級を新設し、巡回型の教員を配置し、保護者の要望に対応していきたい。

問 加茂野交流センター施設維持管理事業において、今後、施設を学童保育に開放していく可能性は。

答 学童保育は、備品の保管、長期間連続して同じ場所を占有するなどの課題も多いため、簡単に実現できるとは考えていないが、今後も交流センターの活用方法を検討していきたい。

問 給食材料費について、臨時休校中の給食費の取り扱いは。

答 小学6年生と中学3年生については、卒業するため、基本的には現金での還付になる。その他の在校生については、還付を行う場合に各種手数料が必要となることから、次年度の給食費に充てるよう繰り越す方向で検討している。

《市介護保険会計予算》

問 ふれあい・いきいきサロンへの社会福祉協議会からの支援状況は。

答 サロンの開催回数に応じ、補助額が異なり、通常、7回から10回未満で、1回当たり2,500円、10回から20回未満で、1回当たり3,000円といった形で、社協から手当てしている。それ以外に、事業費を超えた部分については、市からの補助金14万4,000円から、各サロンへ支出をしている。また、令和2年1月現在のサロンの箇所数は41カ所である。参加人数は、昨年度実績で延べ7,966名である。



ワンコインカフェ「憩」の様子

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額

企画建設常任委員会

《市私債権の遅延損害金徴収条例》

問 条例改正の概要は。

答 私債権について、一律に条例で遅延損害金を徴収するように定めたことと、令和2年4月1日から民法の法定利率が3%になることに合わせて、市でも私債権の遅延損害金については利率を3%に定めることとした。

《市印鑑条例の一部を改正する条例》

問 印鑑の登録ができない者として、「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」に改めているが、意思能力を有するかどうかの判断は誰が行うのか。

答 成年被後見人が成年後見人と一緒に市民課の窓口に来ていただき、かつ、成年被後見人本人の意思で印鑑登録をするものであるのかを市民課で確認した上で、印鑑登録をする形になる。

《市営住宅の設置及び管理に関する条例及び市定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例》

問 連帯保証人の負担する債務の極度額の設定を、当初家賃の24カ月分としているが、明渡し強制執行経費と、家賃滞納開始から強制執行までの期間の滞納家賃に充てるとすると、平均家賃から想定される極度額の設定では足りないと思うが、どのような考え方で極度額を設定したのか。

答 極度額を高額にすると、連帯保証人の確保が困難になることが懸念される。また、国の極度額に係る調査によると、家賃が4万円未満の物件の損害額は、約9割が50万円未満となっていることから当初家賃の24カ月分が相当と考えている。なお、家賃の滞納が高額にならないように、適正な管理をしていきたい。

問 契約書に極度額は具体的に明記されるのか。

答 契約書に、極度額として当初家賃の24カ月分の金額を明記する。

《市特定用途制限地域における建築物等の用途の制限に関する条例の一部を改正する条例》

問 「危険性や環境を悪化させるおそれのある一定規模以上の工場、貯蔵施設など」が建築可能となるが、その詳細は。

答 建築基準法に規定されているものであり、例えば、原動機を使用する工場、製造業などの建築物が建築可能になる。

問 今回、建築制限を緩和し、建築が可能となるものは、今後どのような方法で必要な規制をしていくのか。

答 各種法令に基づいた上で、市の開発審議会や都市計画法における開発許可の中で審議していく。

問 建築物等の用途の制限を緩和することによって、今後、市としてどのような施策をしていくのか。

答 都市計画マスタープランの見直しにより、美濃加茂インター周辺を産業ゾーンと位置付けており、今後は企業誘致を進めていきたい。



美濃加茂IC付近

《市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例》

問 条例改正の趣旨は。

答 法律により、個人番号を利用できる業務が定められているが、これに加えて、個人番号を利用できる事務を条例で定めることにより、法定事務以外にも個人番号の利用ができるようになっている。法改正により、条例で重複して規定されることとなった業務について、条例から削るため条例改正を行うものである。

委員会審査の概要

《令和元年度市一般会計補正予算(第8号)》

◆一般道路改修事業(2,500万円)

問 市道下則友南坂線道路改良工事の総工費及び工期は。

答 全体の工事費は、約2億3,000万円を想定している。令和元年度から順次工事を進めており、令和2年度末の完成を目標としている。

文教民生常任委員会

《市総合運動場条例の一部を改正する条例》

問 ナイター利用の期間が延びることによるグラウンドの利用者増の見込みは。

答 ナイター利用について、前平グラウンドは、今年度が5月から10月までの実績で38件であり、期間が延びることとなると、来年度は50件ほどになる見込みである。東総合、西総合及び下米田グラウンドは、同様に、今年度がそれぞれ20件から25件ほどであることから、来年度はそれぞれ30件から35件ほどになる見込みである。

問 市民への周知及び利用する各競技の団体への周知は。

答 市民には、すぐメールやホームページで周知をしていく。各競技の団体には、市体育協会を通じて周知を行っていききたい。

《市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例》

問 今回の手当の改正の対象となる健診は。

答 報酬の改正の対象となる健診は、就学时健診と5月までに実施する法定の健診である。なお、医師及び歯科医師の学校医については、年額で報酬を支給しているため、普段の健康指導は年額に含まれている。

《市体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例》

問 民間事業者によるフィットネス事業の開始時期は。

答 3月上旬に最優先候補者を決定しており、4月から施設の改修を行い、今年の夏ごろまでに事業を開始したい。

問 市として、このフィットネス事業について、どのような運営方針があるのか。

答 女性や高齢者を中心とした幅広い年代の市民が気軽に利用できる健康増進の場を目指している。なお、利用しやすい料金設定、専門的な知識を有する

スタッフの配置などにより、市民の健康増進につなげていきたい。

《市民の歯と口腔の健康づくり条例の一部を改正する条例》

問 現在の取り組み状況は。

答 ライフステージ別では、乳幼児期において、口腔機能の発達が進められる働きかけを乳幼児健診で実施している。成年期では、健康寿命の延伸につながるように、来年度から歯周病検診は、対象となる方に無料で実施する。高齢期では、口腔機能に重点をおいた「ぎふ さわやか口腔健診」の受診率向上のために、「ふれあい・いきいきサロン」等で受診勧奨し、口腔機能の維持につなげる体操の普及を進めていきたい。

問 市として、歯を磨く習慣をどのように普及させていくのか。

答 妊娠期から、保護者に対して歯磨きの大切さをしっかり伝えていくことと、歯を磨くことの大切さを認識しながら自分で磨く力を身に付けることに重点を置いて周知していききたい。



歯科健診の様子

《市健康診査等手数料条例の一部を改正する条例》

◆5ページ参照

問 30代健診の対象者及び周知方法は。

答 就労していない子育て中の女性を主に対象と考えている。来年度は、健康診査の概要のチラシを対象者に送付し、周知していく。

問 30代健診の期待する効果は。

答 生活習慣病の早期発見と、40歳から始まる特定健診を受けるまでの健康管理の習慣を身につけてもらうことを期待している。

《令和元年度市一般会計補正予算(第8号)》

◆長良川鉄道経営安定対策補助金(1,559万円)

問 昨年度からの増額及びその増額理由は。

答 昨年度と比べて、長良川鉄道全体で、約1,300万円増えており、運転手の人材確保や枕木の修繕が主な増額理由である。

市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登壇し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



牧田秀憲議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和2年第1回定例会

3月9日・10日・11日 一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



渡辺孝男 議員

新型コロナウイルス問題

問 新型コロナウイルスについて市の対応は。

答 新型コロナウイルス感染症は近隣でいつ発生してもおかしくない状況にある。市民の皆さんに対し病気の発生状況や、その予防対策について、すぐメールやホームページ等で情報発信し、自分の身を守る対策として咳エチケットや手洗い、手指消毒の励行をお願いしている。また感染に対する不安や疑問に対して相談窓口を案内するなど、感染拡大防止策に全力で取り組んでいる。産業振興支援についても市内の観光、飲食、運輸、製造業などに影響が出ている。市として商工会議所等と連携し実情を素早く把握し、支援などの相談に全力で対応していく。

健寿会等の補助金増額

問 活動することにより医療費抑制の効果が期待できる健寿会等の団体に補助金を増額する考えは。

答 各単位の老人クラブには、自身の健康づくりや

介護予防を目的とした取り組み、また、奉仕活動や見守り活動など、地域貢献にも一役を担っていただいている。多種多様なクラブがある中で、今後、健康寿命につながるような新しい取り組みなどには、補助金の在り方を検討していきたい。

市長の市政方針

問 地域防災力強化事業はハード、ソフト両面が必要であるが主な事業は。

答 ソフト面では出前講座により、高齢者に対して災害避難カード「一般的にマイタイムライン」と言われているものの必要性を継続して勧奨し、ハード面では避難所が長時間停電することを想定して、電気自動車を購入することにより、避難所用蓄電池として利用することを計画している。そのほかに、災害時の生活用水が確保できるよう、災害時協力井戸の登録を開始し、災害時の生活用水の提供が、市民・事業者の共助により行われるよう進めていく。また、防災行政無線をデジタル化することにより、確実な災害情報を伝達するとともに、避難所との双方向での迅速な情報交換を行える体制を整備し、ハードとソフト両面の取り組みを行い、いっそうの防災力強化に努める。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



高井 厚 議員

一般会計歳入予算

問 昨年度より増額した個人市民税の説明を。

答 給与所得者の個人市民税は事業主に原則特別徴収して頂いている。当初賦課における納税義務者は、平成30年度は18,669人、令和元年度は19,342人であり、673人の増加となった。また、有効求人倍率や一人当たり賃金などの雇用・所得環境の改善により、給与所得の増加が見込まれることから前年度より3,800万円の増を見込んだ。

問 法人市民税は、増見込幅が小さいと感じられるが説明を。

答 地域間の税源の偏在性を是正し、財政格差の縮小を図るため、令和元年10月1日以降に開始する事業年度から、法人税割の税率が現行の12.1%から8.4%に引き下がることになった。この影響で、令和2年10月までは増収を見込む反面、11月以降は減収が見込まれることから、トータルで1,000万円増の見込みとした。

ネットワークとサテライト構想

問 連絡所の機能拡大強化についての所見は。

答 都市マスタープランにおいて、サテライト拠点を整備していく方向性を示していることもあり、連絡所業務の役割は重要と考えている。そこで、主に2つのことを充実していきたい。1つは、住民サービス向上に直結する窓口業務の機能を拡大強化し、行政手続が完結できるようにすること、もう1つは、地域の課題解決に対する取り組みや、協働によるまちづくりを推進できるようにすることである。

安心な地域生活の確保

問 人口が1万人を越えている加茂野町は今も駐在所となっており、担当官が不在の時間帯が多く、住民の安心感が担保できているとは言い難い。加茂野駐在所の交番への格上げについて、市の考えは。

答 現在2名の駐在所から交番へ格上げとなれば、配置人員が増加し、地域の安心感が高まると考える。要望書提出等による格上げの可能性については、情報収集や警察との協議を行い対応を検討したいと考えている。



片桐美良 議員

里山千年構想

問 里山整備後の維持管理については。

答 里山の管理は土地所有者等、地域の皆さんによることが大前提だが、多くの公共的機能も有しており、地域の皆さんをはじめ多くの力によって保全する仕組みが必要である。現在も市内外を問わず、広くご参加いただいている取り組みを充実していく。また、新たに森林経営計画を策定して、持続可能な里山の維持管理を目指す。

問 整備区域での道路にはみ出ている木の除去は。

答 担当課と協議し、効果的な方法を検討していく。

問 市が寄贈を受けた伊深の古民家「櫻井邸」を里山くらし体験のサブ拠点とする考えは。

答 里山の文化を楽しみながら体験できる施設を、グリーンツーリズムの活用も含めて、市内の里山に設置を検討しており、櫻井邸も候補の一つとして関係部署と協議する。

問 森のさんぽ道及び遊歩道の整備計画は。

答 里山公園から健康の森まで、整備後の里山や農道を歩く「森のさんぽ」を4回開催し、大変好評であり今後も継続実施していく。健康の森を起点とした、各方面のさんぽ道や、さくらの森周辺の活用等、新たに遊歩道の整備も計画していく。また、新たな活用に向け、森の案内人等の人材育成も進めていく。

問 森のさんぽ道等に案内標識や避難小屋も必要ではないか。

答 土地所有者の意向も配慮しながら、その可能性を計画していく。

問 里山整備の企業連携は。

答 豊田合成さんには、企業林の整備だけではなく隣接する健康の森でも、社員や家族の皆さんに対する福利厚生にも活用されている。企業による里山整備は、地域の現状を踏まえた柔軟な対応が可能になるため、市内の企業も含め積極的に働きかけていく。

問 里山整備以外の企業連携は。

答 市内の里山をフィールドとした、林業と農業の課題に対する取り組みに企業の最先端技術等を活用し、その解決に向けて研究していく。また、企業側にとっても多くのメリットが得られるような仕組みを構築していく。

市政一般に対する質問と答弁



前田 孝 議員

新型コロナウイルス

問 予防対策の周知と相談窓口はどこか。

答 周知は、すぐメールやホームページ、本庁舎1階のサイネージ(電子看板)といった電子媒体のほかトイレに手洗いや咳エチケットのポスターの掲示や予防策をまとめたチラシの配布などを行っており、相談窓口は国・県が開設し、感染症に関する一般相談窓口として可茂保健所が対応している。

問 市として相談窓口はあるのか。

答 健康課に相談していただき、可茂保健所につながっている。

問 学校、保育園等に対する対応は。

答 学校については小中学校は3月2日から3月26日まで臨時休校にしている。共働き世帯など保護者の留守家庭を支援するため、「放課後児童クラブ」の児童については、3月2日から受け入れており9日からは児童クラブ以外の児童を9小学校から137名の希望者を学校で受け入れている。



「密」を避けて外出しましょう！
(首相官邸、厚生労働省作成チラシから引用)

新庁舎建設

問 美濃加茂市ハザードマップについて、ハザードマップの浸水の計画規模と最大規模の違いは。

答 計画規模は、木曽川流域5,275km²に降雨量2日間で295mm降雨の場合である。想定最大規模は、2日間で527mmの場合の浸水可能性についてシミュレーションしたものである。

問 未来のまちづくり委員会の最終答申について、建設計画予定地は、想定される災害(浸水・地震)に対して万全の対策を行うこととあるがその対策は。また、駐車場は分散型が想定されるがその対策は。

答 地震については、免震構造を採用する。浸水の災害については、浸水の深さによって垂直避難や水平避難ができるよう情報発信に努める。非常用発電装置は3階以上に配置する。駐車場については、民間の駐車場の活用についても視野に入れている。



森 厚夫 議員

新年度予算

問 一般会計230億8,000万円に対する市税総額85億6,000万円の各税に対する前年度までの滞納件数、滞納未納額等について、どのように対処し、収納整理され新年度予算に活かされているか。

答 令和元年度12月における滞納件数は3,239件、滞納額は4億3,931万円となっている。内訳は、市県民税が2,288件で2億1,657万円、固定資産税・都市計画税が509件で1億9,986万円、軽自動車税が569件で915万円、法人市民税等が172件で1,372万円となっている。

新たな滞納者を発生させないよう、早めに納付に関する通知を行ったり、滞納処分を実施することにより、滞納者及び滞納額を減らすように努めている。引き続き、迅速で適正な未収金の徴収に努め、税の公平性と財源の確保を図っていく。

新庁舎建設

問 ハザードマップに示されている当市における最大浸水規模の見解は。

答 木曽川浸水想定区域は、計画規模と想定最大規模が国土交通省から公表されている。想定最大規模に関して言えば、美濃加茂市の面積の70倍以上の木曽川流域に、9・28災害の約2倍の降雨量があったときに発生する可能性があるとして示されている。

浸水する可能性があるため、非常時には早めに避難するようという情報提供であると聞いており、市としては、迅速かつ確かな情報発信をしていかなければならないと認識している。

問 美濃太田駅前候補地の駐車台数は。

答 公用車駐車場として約60台、来庁者駐車場として約100台を確保したいと考えている。職員の駐車場は、現況の約330台の駐車場を使用する。にぎわい機能による駐車場不足に関しては、民間駐車場を約100台借り上げることで確保していきたい。

問 投票による意向調査は。

答 前々回や前回の市議会の一般質問においても答弁しているが、住民意向調査を行うことは想定していない。今後も議員の皆様との議論を重ね、市民の皆さんにご理解いただけるよう、十分な説明をしていきたい。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



柘植宏一 議員

教育振興計画

問 前期の教育振興基本計画と大きく異なる視点は。

答 めざす方向をだれもが共有できるようにするため「学校が楽しい!」というキーワードを位置付けた。学校が楽しいという意味は、いつでもどこにいても、「毎日が楽しい」と言えることで、小中学校だけでなく、すべての場所が学び舎としての学校であり、「学校が楽しい!」を子どもも先生も地域の人も共有して、教育を推進することとした。その総合評価指標は、実際の子どもの「学校が楽しい!」という声の割合とした。

問 コミュニティスクール設置の行程、地域学校協働本部の役割と構成は。

答 次年度、まずは教育委員会内に「コミュニティスクール」担当を置き、岐阜大学の益川浩一教授に助言・指導をいただく予定である。地域の実情に勘案し、まずは小学校2校について、先進的に設置に向けた動きをしていく。

地域学校協働本部とは、学校と地域の課題、目標、ビジョンを共有し協働して動く地域側の組織であり、保護者をはじめとした幅広い地域の住民、団体の参画による。地域学校協働活動推進委員が、学校と地域とをつなぐコーディネーターとなり、連携・協働活動を推進していく。まちづくり協議会との連携も検討していく。

地域自治、小規模多機能自治の推進

問 連絡所機能の今後のあり方は。

答 2つの役割として、住民サービスの向上と、住民主体によるまちづくりの推進がある。今後、少子高齢化や人口減少社会が進むため、地域の課題解決に対する取り組みや、協働によるまちづくりの推進は非常に重要である。

そこで、マンパワーが必要となるので、連絡所業務の見直しと合わせて、職員の増員といったことも検討していきたい。



村瀬正樹 議員

新庁舎建設

問 市執行部は、美濃太田駅前にある美濃加茂市商業ビル(シティホテル美濃加茂)を解体し、その場所に新庁舎の建物をつくろうと計画している。

議員に対し、今後30年間の商業ビル維持管理費として、30億8千万円が資料として出されたが、この金額が他の3候補地と大きな違いである。新庁舎本体工事費予定額の約60億円と比べても多すぎないか。この積算根拠を伺う。

答 本市の公共施設等総合管理計画に基づき、平成29年度に策定した「商業ビル長寿命化計画」によるものである。その内訳として、建築工事が8億6千万円、電気設備工事が3億8千万円、給排水設備工事が2億3千万円、空調設備工事が7億5千万円、搬送設備工事が1億5千万円、設計監理等の諸経費が7億円となっている。

この積算は、リニューアル等を考慮したものではなく、あくまでも現時点での機能を、そのまま

維持していった場合を前提とした改修計画となっている。

問 シティホテル美濃加茂のこれまでの歴史をふりかえるとき、行政が決断して続行してきたものを行政がとりやめることは問題がないか。

答 第3セクターとして経営が困難になったとき、市は土地、建物、備品等を購入することで、市商業ビルとして施設を存続してきた。これは、駅前の活性化という目的と、可茂地域の都市的施設であり、社会経済や生活文化の交流拠点として果たす役割が大きいという理由があった。

こうした観点から言えば、今回の新庁舎の中にコンベンション機能や商業的機能を残すことで、その役割を果たすことができると考えている。決して、駅前の灯りを絶やすような考えではないことをご理解いただきたいと思う。



渡辺義昌 議員

兼業農家の担い手不足

問 兼業農家の現状は。

答 本市の兼業農家は、平成27年度の農林業センサスによると、兼業農家546戸のうち、農業所得の方が兼業所得よりも多い「第一種兼業農家」が48戸、兼業所得の方が多く「第二種兼業農家」が498戸であり、約9割が「第二種兼業農家」となっている。

問 耕作放棄地はどのくらいあるか。

答 本市における荒廃農地は、昨年調査で再生利用可能な農地が約21haある。また、山林化等再生困難な荒廃農地は約151haあり、合計で約172ha存在し、全農地の約1割を占めている。後継者不足と農業従事者の高齢化が進み、耕作ができなくなっていると考えられる。

問 これからの農業担い手、事業継承についての考えは。

答 農業の担い手確保や、経営の継承を進めていくためには、若者や外国人就労者等多くの方に、農業

の就労自体にメリットを感じていただくことが必要である。

インフラ事業と市債

問 新年度着手の大型事業についてそれぞれの予算総額は。

答 新保育園の整備では、令和2年度から令和11年度までの総額は、14億2,712万9千円で、新保健センターの整備では、令和2年度から令和23年度までの総額は、8億8,000万円となる。防災情報伝達システムは、総額8億7,773万6千円、伊深交流センターの整備は、令和2年度から令和12年度までの総額は、1億4,973万9千円となっている。

問 現在の市債残高はいくらか。

答 一般会計の市債残高は、令和元年度末時点での見込み額は、132億9,184万8千円である。企業会計を含めると、321億1,583万9千円である。

問 今後のインフラ事業や市債についての考えは。

答 施設整備の財源として、市債を有効に活用していくが、事業効果と財政健全化のバランスをとって進め、引き続き将来負担比率を発生させないような財政運営を進めていく。



金井文敏 議員

施政方針

問 人口減少を抑制する取り組みは。

答 人口減少を抑制するという観点の現状認識から言えば、美濃加茂市の人口は微増ながら2035年まで増え続ける可能性が高い。若い世代が安心して働ける「しごとづくり」、地方への新しい人の流れをつくる「ひとづくり」、地方で安心して暮らせる「まちづくり」を目指して進めている。

問 社会的包摂とレジリエンス^{*}の強化は。

答 地域や職場、家庭での「つながり」が薄れてきていると言われる中、様々な社会的リスクが連鎖・複合し、社会的弱者などの社会的排除の危険性が増している。様々な取り組みや体制整備などを、地域防災計画や障がい者計画に基づいて整備・実行することで、社会的包摂とレジリエンスの強化につなげたいと考えている。

※レジリエンス：困難を乗り越える力のこと。

認知症高齢者の損害賠償保険の事業化

問 人身傷害や財物損壊を伴う事故、家族の監督責任を負った場合などの補てん額の上限は1億円であり、保険料は自己負担なしで、市が一人当たり1,700円の保険料を支払う仕組みである。

認知症高齢者の現状と損害賠償保険の事業化への考えは。

答 市が実施した調査では、認知症による徘徊時の理由で行方不明になる恐れのある高齢者は約60人おられた。今後の行方不明高齢者対策の一つとして調査・研究していきたい。

「美濃加茂市気候非常事態宣言」の制定

問 未来に持続可能な社会を引き継ぐために果敢に取り組むことが重要である。今後10年が人類の未来を決めるとも言われている。

この宣言を制定することへの考えは。

答 環境、経済、社会の課題に対して、総合的に向上していくことが求められている。市として、現段階で「気候非常事態宣言」をすることは、バランスを保つうえでも、慎重に考えなければならないと考えている。

市政一般に対する質問と答弁



山田 栄 議員

新庁舎建設

問 現本庁舎施設の現状の課題、今後の修繕計画及び活用期間の見解は。

答 現庁舎は昭和36年建築し、すでに58年経過し躯体自体の損傷や外壁の漏水、施設設備の老朽化、狭隘性、働く環境など多くの課題がある。今後の修繕としては空調設備、ボイラー設備の改修であるがこの工事は多額の費用が予測されるため計画を計上していない。新庁舎整備に向けて着実に事業を進めていきたい。

問 生涯学習課の配置の考えは。

答 現場の課題は、現場で対応すべきであると考えており、生涯学習課は生涯学習センターに残す方針である。

問 本庁移転の場合の跡地活用の構想は。

答 跡地活用方法は決定しているわけではないが、子育て支援施設、高齢者施設など公共的な活用の方法を検討していく。その場合、民間と連携して行う

事業展開が良いと考えており、今後、新庁舎の整備位置が固まった段階で、「美濃太田駅周辺整備将来基本計画」との整合性をはかりながら、具体的な検討を進めたいと考えている。また、現庁舎敷地は、生涯学習センター駐車場としても必要な敷地であるため、民間事業者との共用も視野に入れて進めていく。

観光

問 木曽川流域の観光地ブランド化に向けた県の取り組みに対する当市の考えは。

答 県が発表された「清流木曽川再発見プロジェクト」では、木曽川の中流域では、木曽川を共通の資源として、中山道をはじめ、美濃加茂市・可児市・各務原市・犬山市・坂祝町の四市一町における、魅力の再発掘を指向するものである。また、このプロジェクトと並行して、流域の観光協会長を中心に、民間レベルでの動きもあり、そのコンセプトや代表的な取り組みについても協議が始まっている。本市としても、日本八景やライン下り等、流域で共有する資源の魅力発信に取り組んでいきたい。

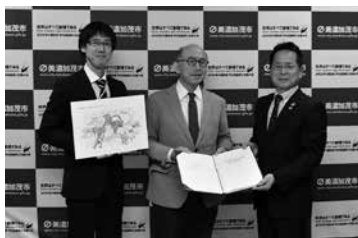


森 弓子 議員

新庁舎整備

問 未来のまちづくり委員会の答申・付帯意見への対応は。

答 平成31年2月12日に新庁舎の整備地について中間答申、令和元年12月24日には新庁舎の規模、機能などについて最終答申があった。市としては4つの候補地について改めて比較検証し、付帯意見はしっかり対応していきたい。



答申書を提出する様子

環境関連施策

問 環境まちづくりプランの重点プロジェクトである「循環型社会をつくる4R」は、①必要でないものは断る「リフューズ」、②発生させない「リデュース」、③再利用する「リユース」、④再資源化する「リサイ

クル」である。マイクロプラスチックごみの問題への啓発を積極的に行ってほしいと考えるが。

答 レジ袋やペットボトルなど、生活の中で使用するプラスチックごみが、劣化や流れにより細かい粒子となり、海中を浮遊するのがマイクロプラスチックであり、海洋汚染や生態系に影響を及ぼしているものである。発生する原因の1つとして、ポイ捨てや不法投棄による、海への流出が問題になっている。環境計画に位置付けた「4Rを推進するプロジェクト」において、プラスチックゴミの削減や食品ロスの削減、資源回収等リサイクルの推進、ゴミの分別収集、家庭ゴミの減量などの啓発活動を行う。

問 「ごみ拾い宣言」・あるいは「きれいなまち宣言」をした方に、専用のごみ袋を配布し、ごみ拾い後、缶などを分別後、近くの集積場に出す、といった「ウォーク&ごみ拾い」を実施してはどうか。

答 現在、自治会等、地域でゴミ拾いをされる場合、市から「地域ゴミ清掃用」のゴミ袋を配布し、集まったゴミの回収をしている。今回の「ゴミ拾い宣言」による活動は、環境美化だけでなくポイ捨ての削減にも効果が見込めることから、非常に有効であると考え、実施できるようにしていきたい。



永田徳男 議員

先進安全自動車購入費補助制度

問 市の「先進安全自動車購入費補助制度」と国の「サポカー補助金」の併用は可能か。

答 市による「補助金」と国による「サポカー補助金」の併用は可能である。「国のサポカー補助金」の詳しいことは、「一般社団法人 次世代自動車振興センター」のホームページに掲載されているが、購入されるご本人が、販売店にご確認されることをお勧めしたい。

問 軽トラックでも申請は可能か。

答 美濃加茂市の地域性の特性から「軽貨物自動車」も多いことの現状やご要望にお応えすべく、補助金申請要項の一部を改正し、新年度4月より対象にするため、今後、広報等で周知を図っていく。



選挙における投票所

問 投票率に対する考え方は。

答 美濃加茂市の投票率は低下傾向にあり、特に若年層の選挙への関心が低いことに起因し、選挙管理委員会としては、教育機関と連携して、主権者教育を継続するとともに、利便性の高い投票環境を提供することに尽力する。

問 自動車免許のない方への配慮は。

答 選挙管理委員会では用意する移動手段として、期日前投票では、あい愛バスの無料での利用、投票当日は、投票所が以前より遠くなった地区の方を対象とした、タクシーによる無料送迎を行っている。

問 投票所は元の会場に戻せないのか。

答 平成23年に投票所の縮小を決定した折り、議会・自治会・市民の方との意見をお聞きし決定しているので、それは尊重する必要性を感じている。ただ決定から10年近く経ち、見直し後において、期日前投票所の充実、そして有権者に政治や社会に関心を持ち参加する意欲の高揚等に力を入れ、又投票率の向上に向けて、投票所の適正な在り方や、課題に応じて、協議することも必要であると感じている。



酒向信幸 議員

美濃太田駅周辺再開発

問 将来像を共有し、総合的・戦略的に中心市街地のまちづくりを進める中で新年度から策定される美濃太田駅周辺市街地整備基本計画であるが計画の内容は。

答 美濃太田駅周辺市街地整備基本計画は、令和2年度に策定を予定している。市街地再開発事業の検討をしている美濃太田駅南地区を対象に、地価や土地・建物の権利関係、交通・商業・施設需要などに関する調査、建築計画、資金計画、事業スケジュールなどの事業化に向けた内容や都市施設などの公共施設計画について概略の検討を行う。また、同時に権利者の再開発についての合意形成や意識調査も実施することを予定している。

問 美濃太田駅南地区街づくり協議会が昨年設立されたが、今後本市、協議会双方が行っていかねばならないことは何か。また連携・協力が不可欠と思うが考えは。

答 美濃太田駅南地区の街づくりを行うためには、市と協議会が連携と協力をしながら街づくりの方針や手法などについて共通の認識を持つことが重要である。

そこで、それぞれの立場で何を担うかということになる。市は、総合計画や都市計画マスタープラン及び立地適正化計画等の関連する計画との調整を図りながら街づくりの方針に助言をするとともに、事業の推進について組合などの事業主体を指導・監督・支援をすることが重要であると考えている。

また、協議会では、街づくりの整備方針に対して会員の熱い思いを反映させるとともに事業手法に対する理解を深めながら、権利者相互が連携し、計画の実現に向けて協力していくことが重要である。

さらに街の整備後においても、賑いの創出とその継続をさせるために、エリアマネジメントを行う組織を創設して市と連携・協力しながら、運営していくことが不可欠であると考えている。

市政一般に対する質問と答弁



坂井文好 議員

感染症対策

問 感染症対策物品として、マスク等は適正に備蓄されているか。

答 現在、市が備蓄するマスクは、以前インフルエンザが流行した当時のもので、一定量を備蓄している。品薄の状態の中で、医療機関等を中心に調整を図り提供している。感染拡大防止策の一環として、市役所において窓口対応職員のマスク着用を義務付け、これら備蓄マスクを活用し対応している。また、市内の2病院と協定を締結し、手指消毒剤等を一定量病院に備蓄、必要時に市で活用できるようにしている。

地球温暖化への適応

問 大規模な風水害等発生時、当市の防災はどこまで適応できるのか。

答 防災体制について、指定避難所は43カ所、受け入れ可能人数は合計で11,012人である。避難情報

等の伝達手段は、防災行政無線のほか、すぐメール・FMららのアプリ等での配信や防災ラジオでの情報配信など多重化を進めている。水や食料の備蓄について、内陸直下型地震発生時の避難者数5,072人、発災後に支援物資が届くまでの3日間を想定し、1日分は市民が自前で確保する前提で2日分の備蓄を進め、2月末現在の備蓄は、水は17,373リットル、1人1日3リットル計算で充足率57%、アルファ化米などの食料は11,070食分で充足率36%である。引き続き災害時用備蓄品の拡充を進めていく。

なお、木曾川で想定最大規模の氾濫が生じた場合、その浸水区域から約8,200世帯、19,000人が避難、浸水継続時間は24時間以内とされ、地震での想定と共に河川氾濫被害の避難状況をシミュレーションして、備蓄品の確保に努める。生活用水の確保や緊急一時避難場所の確保などを民間のご協力により進めていく。

その他、商用電力がダウンし避難所が長時間停電することを想定し、電気自動車を購入し避難所用蓄電池としての利用を計画している。人の力で災害を抑えることはできないが、常に災害を想定し備えることで減災は可能である。災害に強いまちづくりを共に進めていきたい。



田口智子 議員

女性の活躍推進事業「Caminho」

問 国勢調査のデータによる本市の女性管理職比率はH22年9.2%、H27年14.3%という結果を受けての所見は。

答 美濃加茂市役所でも平成28年に「女性職員の活躍推進に関する特定事業主計画」を策定し、女性活躍を推進する市内の中心的事業所として目標を定め取り組んでいる。

国勢調査による女性管理職比率(民間企業含む)

調査年度	全国平均	岐阜県平均	美濃加茂市	県内ランキング 県下42市町村中
H22年	14.0%	11.4%	9.2%	27位
H27年	16.4%	14.5%	14.3%	13位

問 女性活躍推進事業「カミーノ」の進捗状況や成果は。

答 「カミーノ」には5つのKPI(評価指標)が設定されており、概ね達成できている状況であり、平成

28年以降、人口が減少していないこと、出生数や婚姻件数が維持されていることは、少なからず成果として表れているのではないかと分析する。

問 令和2年度の放課後児童クラブ(学童保育)の状況、放課後や長期休暇の子育て支援の充実についての今後の対応は。

答 希望者963人に対し利用許可決定は847人、完全な待機は116人である。夏休みの待機は216人、春休みの待機は194人である。

今回のコロナウイルスの感染拡大防止の為、小中学校の臨時休校を行っているが、住民が自主的に活動する子どもの居場所の開設について、連絡や相談を数件受けている。このような活動が広がっていくのは大切であると考え、教育委員会としては、学童保育の拡大のほか地域の方々の協力を受けながら引き続き子育て支援に努めていきたい。



地域の子どもの居場所づくり キッズサロン「ちえの輪」

活動 ピックアップ

議会改革特別委員会による ミライトークを行いました。



議会改革特別委員会では、令和2年2月3日(月)に、伊深まちづくり協議会の方々とミライトーク(市民との意見交換会)を行いました。今回のミライトークは、昨年の三和まちづくり協議会の方々との意見交換に続き2回目です。

「空き家対策」、「シニア食堂」、「伊深の観光」、「遊休農地対策」の4グループに分かれ、①現状と問題点、②伊深としての今後の方向性があると良いこと、③テーマに対しての市への要望の3項目について意見交換を行いました。その後、各グループで出された意見を全体で共有しました。お互いに率直な話し合いを行い、充実した時間となりましたので、その内容を今後の議会活動に生かしてまいります。

今後とも議会を市民の皆様身近に感じていただけるよう、ミライトークのあり方を研究してまいります。



本会議の様子は、議会中継でチェック!

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひ視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス
<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>



議会中継

美濃加茂市議会 議会中継

検索

次の定例会の予定

令和2年市議会第2回定例会
 6月 8日(月) 初 日
 16日(火) 一般質問
 17日(水) 一般質問
 18日(木) 質 疑
 26日(金) 最 終 日

場所：市役所本庁舎3階 議場
 時間：午前9時から
 (最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

世界中が、新型コロナウイルスによるパンデミック(感染症の世界的な大流行)となり、国によっては、非常事態宣言がなされる中、日本でも小学校から高等学校まで、全休校が要請されました。総額396億6,446万6千円という新年度予算も可決しました。

第6次総合計画に向け前進するためにも、このウイルス問題を一日も早く、世界の英知で押さえ込み、終息されることにより、世界が元の普通の社会に戻ることを願うばかりであります。

永田 徳男

第1回定例会の議場装花



今号の表紙は、加茂農林高校園芸芸流通科の生徒さんに作っていただいた議場に飾られている花です。

このフラワーアレンジメントには、よく相手の話を聞いて充実した話し合いになるようにとの願いが込められています。

次回の議会だよりは、令和2年8月1日を予定しています。
 ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

